

年月日

17
01
19
ページ
25
NO.

産総研と地域企業

産業振興で連携

⑥

東亜薬品工業

広がる耐性菌

2016年5月の主
要7か国首脳会議（伊
勢志摩サミット）で
は、世界的に蔓延して
いる抗生物質耐性菌へ
の対策について議論さ
れた。ヒトに関しては
耐性菌の院内感染や市
中へのアウトブレーキ
が日常化し、家畜につ
いても耐性菌の食肉へ
が認識を一致させた。

の広がりが報道される
など、耐性菌による感
染症対策が急務となつ
てきた。伊勢志摩サミ
ットでは、人と動物の
共通感染症対策のため
・予防のための添加物
として期待されている
のがプロバイオティク
スである。

生きた微生物

「One Health」アプローチで健康守る

プロバイオティクス機能解析



東亜薬品工業（東京
都渋谷区）は、プロバ
イオティクスとして乳
酸菌、酪酸菌、糖化菌（納豆
菌）を利用した

当社の研究では、プロ
バイオティクス投与で
腸菌O-157などの
感染症に有意に作用す
ることや、鶏や養殖魚
の感染症による被害を
低減することを確認し
てある。これらの効果
の機構解明には、感染

症や炎症の発症に強く
関連する免疫機構の解
析事業本部・瀬尾元一
郎（木曜日に掲載）

新たな指標

とは、世界保健機関
(WHO)では「生き
ず全身疾患とも関連す
る」との報告が多くな
ってきた。現在、腸内細
菌を介したプロバイオ
ティクスの新たな用途
開発に各国の産学官の
共同で、宿主の健康によ
り、今後、抗生物質の
使用が全面的に禁
止される方向にあり
、抗生物質の規制は厳
しく増すことは間違
いない。そこで、抗生
物質の代替となる治療

とは、消化管にとどまり
研究機関がしおぎを削
り、その活動が他の菌に
影響を与え、その効果
をもたらす組み合せを選
んでおり、日本の微生物技術
の高さを示している。今後
の発展を期待している。

一言メッセージ

産総研生命工学領域研究
戦略部イノベーション
コーディネーター
新聞 陽一

馬鹿館林市
医薬品GMP対
応の培養棟（群
当社は、産業技術総

病、肥満、うつ病な
常を改善することが主
体であったが、近年で
は炎症性腸疾患、糖尿
病などの治療や畜産の分
野での応用研究を行つて
きた。

3種類の善玉菌を
ただ単に混ぜるので
なく、それぞれの菌に
影響を与えて、その効果
を乗効果で健康に効果
をもたらす組み合せがユニーク
な方法についても共同
開発中である。